キッチン・バス工業会

^{2023,12} No. **26**

広めよう

キッチン・バス工業会の活動をお知らせします



【伊能忠敬測地遺功表】■江戸時代、全国を歩いて日本初の実測による地図「大日本沿海輿地全図」を作った伊能忠敬。測量起点が近くの「高輪大木戸」だったことか ら、(公社)東京地学協会が遺功表を建立(戦災で失った碑を昭和40年に再建)した。この扇型をした顕彰碑は、芝公園の丸山古墳の頂上にある。(港区芝公園4-8-25)

CONTENTS

記事名をクリックすると該当ページに飛びます。

44	ᇙ	_
杏	ᅢ	=
	275	_

『K·B通信』No.26発行にあたり ······ 2 ■ 工業会情報 2024年 公式行事 · · · · · · · · 2 2023年度 第2回 会長報告会 · · · · · 3 2023年度 第2回 全員懇談会/懇親パーティ・・・・・・・3 2023年度 第2回 懇親ゴルフ会開催・・・・・・・・・・・・ 6 キッチン・バス工業会 常務理事退任のご挨拶・・・・・・・ 7 キッチン・バス工業会 常務理事就任のご挨拶・・・・・・・ 8 新規会員ご紹介・・・・・・・・・・・9 代表者変更のお知らせ・・・・・・・・・・・・9 ■ 委員会活動 カーボン・ニュートラルに向けた環境課題への取り組み・・10 大阪ガス実験集合住宅NEXT21視察・・・・・・・・・11 大和ハウス工業株式会社様 総合技術研究所 D'ミュージアム 見学について・・ 12 大震災への備えと安藤忠雄氏の建築を学ぶ移動委員会を実施・・ 13 2023年室内環境学会学術大会に参加・・・・・・・・ 13

福岡市和白水処理センター様訪問・・・・・・・・・・14

■ TOPICS
第19回「台所・お風呂の川柳」事業報告 ・・・・・・・ 15
■ 統計情報
2023年度上期 自主出荷統計 · · · · · · 18
■ 会員情報
大阪ガス株式会社様 硬式野球部 優勝・・・・・・・・・19
■ 団体会員情報
「暮らしの未来シンポジウム2023」開催 ・・・・・・・・ 19
第12回「住宅部品点検の日」シンポジウム開催・・・・・・・19
■ 行政イベント
「住生活月間中央イベント/住まいフェスin岐阜」参加 ・・20
■ 行政情報
新たな住宅の省エネ化への支援、他・・・・・・・21
■ VOICE
秋野顧問弁護士・・・・・・ 23
■事務局
ありがとうございました!! ・・・24 工業会業務日誌 ・・・・・ 25
編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・26

巻頭言

『K・B通信』No.26発行にあたり

日頃よりキッチン・バス工業会の活動にご協力、ご尽力賜り、誠にありがとうございます。11月2日のキッチン・バスの日に第19回「台所・お風呂の川柳」の表彰式が久しぶりに従来通りの形式で開催されました。たくさんの優秀作品が紹介され、心温まり、ほっこりした空気を感じることができました。なかでもキッチン・バス大賞の作品は、作者ご自身が家族の愛に励まされて自らの病気を克服したというエピソードがあり、その情景が透き通るように浮かび、心にしみました。

さて今年も終盤ですが、国内新設着工の低迷、資材の 高止まり、円安と私たちの事業を取り巻く環境は引き続き厳しく、また物流や職人に関する課題への対応も待ったなしの状況です。当工業会は会員の皆様と一致協力して、これら課題に果敢に取り組んでまいります。 また足元では先進的窓リノベ事業が活況ですが、ご採用もしくはご検討してくださっているお客様にキッチン・バス関連商品の訴求も併せて行い、リフォーム需要の拡大を進めていければと思います。

台所・お風呂は人々の生活の中心であり、心の拠り所でもあります。会員企業様のますますの発展により、より豊かで快適な台所・お風呂を供給し続けてまいりたいと存じます。

キッチン・バス工業会 副会長 株式会社 LIXIL 執行役専務 LIXIL Water Technology (LWT) Japan担当 大西 博之

工業会情報

2024年 公式行事(2023年11月24日現在)

工業会行事日程	行事内容
2024年 1月12日(金)	運営諮問会議 出席者:会長、副会長(15:30~16:30) [明治記念館] 新年賀詞交歓会(17:00~18:30)
2024年 4月18日(木)	第1回 理事会(14:00~15:50) 懇親会(16:00~18:00)
2024年 5月23日(木)	定時総会・第1回全員懇談会/懇親パーティ [コートヤード・マリオット銀座東武ホテル] (15:00~16:30/16:45~18:15)
2024年 5月24日(金)	懇親ゴルフ会 【相模原ゴルフクラブ】
2024年 9月19日(木)	2024年度 第2回 全員懇談会/懇親パーティ [リーガロイヤルホテル京都] (14:00~16:00/16:15~18:00)
2024年 9月20日(金)	懇親ゴルフ会 [城陽カントリー倶楽部(京都)]
2024年 11月 1日(金)	「キッチン・バスの日」式典 第20回 川柳優秀作品表彰式 [日本工業倶楽部] (14:00~16:00)



2023年度 第2回 会長報告会

第2回会長報告会が、9月8日(金)、キッチン・バス工業会会 議室で開催されました。会長報告会に先立ち、委員長会議を 行い、新委員長9名を交えた17名の委員長が、取り組んでい る活動を共有しました。

会長報告会は、常設委員会(6)、特別委員会・専門委員会他 (11)の委員長が工業会会議室とオンラインで参加し、2023

年度の事業進捗を報告しました。西尾会長からは冒頭にご挨 拶があり、各委員会報告後にいくつかの質疑と委員会活動へ の労いの言葉が述べられました。

当日は大型台風接近による交通機関の乱れが出ており、会 長報告会は時間を短縮し開催されました。

■会長報告会議事次第 -

- 1. 西尾会長挨拶
- 2. 各委員会進捗報告
 - (1) 総務委員会(若尾委員長)

広報専門委員会 (野村委員長)

室内空気環境専門委員会(大池委員長)

仮設住宅対策専門委員会(中出委員長)

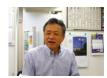
材工課題専門委員会(吉田委員長) 営業企画専門委員会 (猪狩委員長)

(2) 技術委員会 (キッチン・洗面: 西岡田委員長)

(浴室:池口委員長)

- (3) 調査統計委員会(垣田委員長)
- (4) PL関連委員会(松本委員長)
- (5) 情報化推進委員会 (中溝委員長)
- (6) 消費者関連委員会(新井委員長)

- (7) 中企税関連特別委員会(行森委員長)
- (8) こどもエコすまい支援事業特別委員会(小林委員長)
- (9) 物流課題特別委員会 (野村委員長)
- (10) ジェット噴流バス啓発委員会(田村/後藤委員長)
- (11) 電気式浴室換気乾燥暖房機啓発委員会(駒谷委員長)
- 3. 事務局報告
 - ・第19回「台所・お風呂の川柳」事業経過報告、ほか



西尾会長



2023年度 第2回 全員懇談会/懇親パーティ

第1部 議事・特別報告

9月14日(木)、リーガロイヤル京都でリアル出席58社(代 理含む)、Web出席5社、参加総数80名で全員懇談会が開催 されました。会員移動では、9月末をもって越道常務理事が定 年退任され、10月から新常務理事として清水洋一氏が就任す ることが報告されました。また、委員会からの特別報告、第19 回川柳事業、今後の行事日程が報告されました。

■ 報告事項 -

·会員移動の件 越道常務理事退任と、清水新常務理事の就任

■ 特別報告 -

- ①キッチン・バス工業会「創立60周年記念事業」について
- ② 「自主出荷統計」 について
 - ・キッチン統計専門委員会報告
 - ·洗面統計専門委員会報告
 - ·浴室統計専門委員会報告
- ③「経産省CFPガイドラインを受けての製品別算定 ルール策定活動」について
- ④事務局報告
 - ・第19回川柳事業について
 - ・今後の行事日程〈公式行事・委員会開催日程他〉





越道常務理事

3

第2部 講演会

「コロナ禍30カ月間

観光売店売上85%ダウンの中で乗り切った経営戦略」 ~ 向かい風 後ろを向けば追い風に ~



越 和夫 様
いました。一つがリスク管理「卵は一つの篭に盛るな」をしていたこと、もう一つが「幼児用お箸販売高日本一の六角知

皆様こんにちは。全国1万人の講師がいますが大黒さんの格好をしたのは私だけだと思います。以前、西尾会長に講演をお聴きいただいたことがございまして、本日はお招きいただきありがとうございます。

私の会社は奈良の二月堂に来られる観光バスのお客様を相手に箸を製造し販売しています。箸はどこの家庭でも溢れています。モノが余って買う気がない。日本経済とよく似ています。デフレで、モノ余りで購買意欲がない状況で40年間商売をし、そのやり方が役に立つということで「なぜ売れる一膳あれば いいお箸で」というテーマで講師を2,000回以上しています。

私の会社は20人程の規模なので、皆様のお役に立つかは 分かりませんが、40年間現場で、肌で感じてきた生の内容を お話ししたいと思います。







大黒様の服装で登場

身振り、手振りで講演 お箸をプレゼン

コロナ禍30カ月間

観光売店売上85%ダウンの中で乗り切った経営戦略

結論から申し上げます。「卵は一つの篭に盛るな」という格言があるのをご存じでしょうか。卵を全て一つの篭に入れると、その一つの篭が落ちてしまうと全部割れてしまう話です。つまりリスク管理です。過去にリーマンショックで観光バスが来なくなったことがありました。その時に、観光バス1本での商売は難しく、2本立てにしないといけないと思いました。観光バスを待っているのは蜘蛛の巣商売(待っているだけ)なので、売りに行くミツバチ商売で、全国の幼稚園・保育園向け幼児用お箸で日本一になりました。

このコロナ禍で日本中が痛い目にあったのがサプライチェーンだと思います。私は心臓の調子が悪い時、医者に心電図を診てもらっていました。心臓を動かすには電気信号の発信元があるのですが、AがダメならB、BがダメならCということで3つあるそうです。心臓を守る身体でさえ3つのリスク管理をしています。

私共の会社はリスクを分散し、儲かる強みの商品を持って

■質問1 「業界は違うもののメーカーとしてお客様のニーズ(顕在、潜在)をどのようにつかみ、モノづくりに活かされているのか?」

能ばしという強みの商品を持っていた」ということです。

経営、商売の定義に基づいたからです。「お客様の困り事を解決し、快適を与えHAPPYにすること」です。「お客様に今ある技術、商品で新しいHAPPYを与えること」「新しい技術、商品で新しいHAPPYを与えること」「その価値を伝えて喜んで買っていただき、売上、収益を得て社員に物心両面のHAPPYを与えること」が経営の定義だと思います。

この定義はどんな時代でも変わりません。最近はAIの技術が進歩していますが、正しい情報だけでなく偽情報も出ることがあり、AIはそれを監視する機能もあるそうです。ということは世の中が変われば困り事も変わり、困り事が変わったら、それを解決する方法も変わるということです。

つまり、基本的に何に困っているのか、これからは何に困りどういう不安があるのかを皆様が考えて商売をしたら永遠に繁盛すると思います。困り事、悩み事を探す、見付ける能力が必要で、私はすべて現場にあると思っています。古い人間ではございますが、現場での社員やお客様のつぶやきを大事にし、現場、現物、現実の3現主義を掲げています。

新しい変化の時代に困り事は何ですかということですが、例えばコロナ禍ではマスクが普及し、メガネが曇って困るのでメガネの曇らないマスクを考え、マスクを洗濯すると言ったらマスクを干す洗濯バサミが考えられました。将来、どんなことに困るかシミュレーションする能力が大事だと思っています。

今ある技術で新しい商品を考えることですが、私共の中小企業は全く新しい技術は考えられません。私どもは何か新しいHAPPYがないかと模索した結果、納豆好きな方に納豆を混ぜる棒を作りました。設備投資ゼロで箸を1本にし、短くしただけです。

営業することは、お客様の困っている、悩んでいることを



探してあげて、解決してあげることです。それを基本に技術 開発すればいいかなと思います。

■質問2 「この3年余りコロナ禍で営業活動が制限されていましたが、そんな中でも売上実績を確保された主要因を教えてください」

「何も咲かない寒い日は下へ下へと根を伸ばせ」です。全国には幼稚園8,837 (2023政府統計より)、保育園29,995 (2021政府統計より)があり、1万件だった販売先をこの3年間で2割増やしました。観光バスが来ずに店員が余っていますので、全員で販売先に対して営業をし、売り上げを増やしました。これからはネットも大切なのでHPの改修にも力を入れました。このコロナ禍3年間で何をしたかによってアフターコロナの会社の優劣は決まるのではないでしょうか。まさしく「向かい風後ろを向けば追い風に」。ピンチはチャンスとは、こういうことではないでしょうか。

■質問3 「商売上扱われているものが『箸』という比較的単価の安いモノであり、一回販売すると頻繁に買い替えてもらえるモノではないと思われますが、どのように販売サイクルを上げて商売を活性化されているのか?」

■質問4 「販売者を売る気にさせるトーク、お客様を買う気にさせるトークを教えてください」

小さいお子様がいるご家庭で、そのお子様はお箸が持てないとします。その親御様に「お子様が正しくお箸が持てないと将来困りますし、この箸なら2歳、3歳、4歳と手の大きさに合わせて長さ、形、重さのバランスまで大学の脳と手の専門の先生と共同開発しました。なんと今全国の幼稚園・保育園12,000カ所で使っていて、皆様からお褒めいただいております。販売高日本一、私共だけで販売しています。お箸が正しく持てると一生の宝です。皆様から褒められますから買ってください」と説明して買っていただいています。まさしくお客様の困り事をHAPPYに変えるということを訴えています。トークには差別化を盛り込んでいます。大学の「権威」、「皆がしている」に反応する「社会性」、「今だけ、あなただけ、ここだけ」という「希少価値」。この3つの差別化がお客様の購買心理です。

お客様が皆様の商品を購入する際に「色んな商品がある中で、なぜあなた方のこの商品を買わなければならないですか?」と問われたとします。その答えが他社と同じなら価格競争しかありません。その答えがお客様の望んでいる答えと同じでないと売れません。皆様のお客様に「色んなメー

カーがある中でなぜ長年私共の商品を選んでいただいているのですか?」と聞いてみてください。お客様がなぜ買わないといけないのかの問いと、なぜお選びいただいているかの答えとが一致するところが、皆様の商品の価値です。

個人消費300兆円のうち8割は女性です。女性の購買意欲をつかまないといけません。男性は雪が溶けると水になるというのに対し、女性は春になるといいます。感性が違います。女性には、機能よりもこんな幸せな生活、暮らしがあるよとイメージを伝える力が必要です。

また、個人金融資産2,000兆円の70%は高齢者です。高齢者の購買意欲をつかむキーワードは、「孫のため、ひ孫のために」です。

■質問5 「社員のモチベーションアップに対する工 夫など紹介してください」

リーダーであるあなたはモチベーションは高いですか? いつも上機嫌ですか? 「どっちやねん」「なんでやねん」「ま たかいな」 などと言われては駄目です。

社員を褒めることも必要です。カーリング女子の「そだねー」のように相手の話を一旦受け止めてから自分の考えを 言うことも相手が持つ印象が変わると思います。

社員の心理をコップに例えると、伏せてある時はいくら水を注ごうと思っても入りません。このリーダーについていけば人生にとって「得する、ためになる、楽しい」と思ってもらわないとコップは上には向きません。Z世代はこの「得する、ためになる、楽しい」の感覚が全然違います。生まれた時からデジタルに触れ、能力も高く、彼らをやる気にさせた企業がこれから伸びると思っています。この世代は仲間を大事にします。これを踏まえて計画・企画をしないといけません。

一方変わらない感覚もあります。それは人に認めて欲しいという心理です。彼らが持つ、感性そして技術、これを大いに使ってあげてください。そして皆様方が燃えてください。社会のため、人様の喜びを自分の喜びにしましょう。このバス、このキッチンを使えば、こんなに幸せになれるのだと目に浮かべましょう。そこから技術が生まれると思います。

経営、商売の定義とは、「お客様の困り事を解決し、快適を与えHAPPYにすること」です。世の中も、技術も、困り事も変わります。しかし、お客様の喜びを自分の喜びにできる商売人だけが永遠に繁盛するという定義は変わらないと思います。

人生一度でございます。楽しい商売、職場にしましょう。 「うれしい、楽しい」がキーワードです。

講演をお聴きいただきありがとうございました。



第3部 懇親パーティ







乾杯のご発声 大西副会長



中締め 大阪ガス(株) 代表取締役 副社長執行役員 田坂 隆之 様



司会 田中部長



西尾会長(中央)から紹介された 清水新常務理事(左)、越道常務理事(右)



140名の方にご出席いただき、直接お話しできた懇親パーティは久方ぶりでした

2023年度 第2回 懇親ゴルフ会開催

晴れ渡る清々しい秋空の下・・・と言いたいところですが、 今年は異常な猛暑となり、9月になってもその勢いが衰えない中、9月15日(金)城陽カントリー倶楽部(京都府城陽市)に て総勢29名に参加いただき懇親ゴルフ会が開催されました。 昨年は、女子プロトーナメント直後の開催で、超難関のコース コンディションとなり皆様大苦戦でした。今年は、コースコン

ディションに問題はありませんでしたが、とにかく暑い!! まるで真夏のような気温にプラスして湿度が高く、不快指数200%の中でのプレーとなりました。コンペ後の表彰式では皆様和気あいあいで盛り上がりました。



西尾会長のご挨拶

なお、今回も豪華景品をご提供いただきました会員の皆様 には心より御礼申し上げます。



城陽カントリー倶楽部にて

■ 2024年第1回懇親ゴルフ会は、5月24日(金)相模原ゴルフクラブ (神奈川)にて開催いたします。皆様、奮ってご参加ください。

キッチン・バス工業会 常務理事退任のご挨拶



前常務理事 越道 昭徳

この度、常務理事を退任するにあたりご挨拶をさせていただきます。

まずは、常務理事として大変未熟な私にご指導ご助力を賜りました、西 尾会長はじめ歴代の会長、理事、会員の皆様、そして事務局田中部長に心 より感謝するとともに深く御礼申し上げます。

今から4年前、2019年9月リーガロイヤルホテル京都で開催された全員 懇談会・懇親パーティでの挨拶(所信表明)が、私の常務理事としての初 仕事でした。会員皆様の前で「所属していた会社の色を出さず、公平中立 な立ち位置で本職務に臨むつもりです」と挨拶させていただき、何とかこ の公約(宣言)だけは守れたのではと感じております。

この4年間は、まさに新型コロナ感染症に日本のみならず世界中が翻弄され、これまでの常識的な日常が根本的に変化した4年間でもありました。新年賀詞交歓会などの工業会定例行事は軒並み中止を余儀なくさせられ、日々の委員会もWeb会議が主流となり、会員の皆様と一堂に会し、懇親を深める機会を持つことができなかったことが一番残念でした。その半面、危機管理の重要性は楔のように私の未熟な頭に打ち込まれ、今後の人生においてプラスの材料になることと思っております。

常務理事に就く前、一会員として当工業会に参加していた約10年間を 含めると、かなり長い期間、当工業会とは関わりを持たせていただいたこ とになります。その間、大変多くの出会いや別れがあり、どれも私にとって 忘れることのできない素晴らしい財産です。

当工業会は、委員会でのアカデミックな議論や成果物も重要ですが、誇るべきは、会員相互(同業者間)の垣根を払った本音での付き合いが一番の宝物だと自負しております。

今後もキッチン・洗面・浴室の国内唯一の団体として、このスタンスを 貫かれることを切望し、私の挨拶とさせていただきます。4年間本当にあり がとうございました。



キッチン・バス工業会 常務理事就任のご挨拶



新常務理事 清水 洋一

常務理事を拝命いたしました清水でございます。

私が当工業会と初めてご縁を持ったのが、技術委員会に参加した 2000年でした。当時、システムキッチンの商品設計を業務としており、まだ若造だった私は、各会員企業様から委員会に参加されている諸先輩方の、技術者・設計者としての豊かな知見に触れ、とても強い刺激を受けたことを覚えております。

その後、材工課題専門委員会など、他の委員会にも参加させていただきました。参加されている各委員の皆様と、真剣な議論を行うとともに、親しくお付き合いさせていただいたことは、私の社会人生活にとって大きな糧となりました。

当工業会は、キッチン・洗面・浴室事業全体の発展のため、参加される 委員の皆様が、各企業という枠を超えて積極的・建設的な議論ができ、ま た親睦を深められる、とても貴重な場であると思います。これからは、この 場がさらに有意義にご活用いただけるように、事務局として田中部長と二 人三脚でサポートさせていただきます。

また当工業会は2025年度に創立60周年を迎えます。このような時期に常務理事という重責を担わせていただくことは、大きなプレッシャーでもありますが、たいへん名誉なことと思っております。当工業会が大きな節目を迎え、さらに発展できるよう全力を尽くして務めさせていただきたいと思っております。

皆様のご指導・ご支援をいただきながら、これから業務に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



新規会員ご紹介



イビケン株式会社 代表取締役社長 臼井 勝弘 (うすい かつひろ)



本 社 所 在 地 : 岐阜県大垣市河間町1-60

主な取扱品目: 建築資材及び家具什器製品等の生産並びに販売

ホームページ : https://www.ibiken.co.jp/

この度、キッチン・バス工業会に入会させていただきました イビケン株式会社と申します。平素より会員各社の皆様には 格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社は岐阜県大垣市に本社を置くイビデングループの住宅関連事業を行う会社です。最新のトレンドを取り入れた化粧材料から、お客様の要望に合わせた製品まで、住宅資材を幅広く取り扱う「特殊商社」です。

創業時から培ってきた流通業のネットワークを大切にして、 資材調達から住宅そのものに関わる企画提案・設計・評価ま で、一貫したモノづくりで安心と信頼の製品サービスをご提 供できる会社を目指しております。

今後は会員の皆様と共に工業会の発展に努めてまいりま すので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。





代表者変更のお知らせ



power with heart

関西電力株式会社 ソリューション本部 副本部長 松永 聰



この度、キッチン・バス工業会に弊社より参加させていただく松永です。平素より会員各社の皆様には格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社は、エネルギーだけでなく、暮らしに関するサービスを 通じて、お客さまの日々の暮らしに「安心、快適、便利、おトク」 と「楽しさ」を広げる「はぴeライフ」をご提案しております。お 客さまとともに幸せな未来を創れるよう、これからもエネル ギーと住宅設備をカスタマイズしたサービスや、暮らし周りの サービス等を提供していきたいと考えています。

キッチン・バス工業会会員の皆様とご一緒に、当工業会の ますますの発展に向け取り組んでまいりますので、ご指導ご 鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



委員会活動

カーボン・ニュートラルに向けた環境課題への取り組み 経済産業省カーボンフットプリント(以降CFP)ガイドラインを受けての 製品別算定ルール策定活動 浴室技術専門委員会 CFP策定準備WGリーダー 野

浴室技術専門委員会での新しい取り組みについて報告させていただきます。CFPという言葉にはあまり馴染みがなく、LCA(ライフサイクルアセスメント)の方が言葉として周知されているかと思います。CFPとは、商品やサービスの原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通して排出される温室効果ガスの排出量をCO2に換算して、商品やサービスに分かりやすく表示する仕組みで、LCA手法を活用し、環境負荷を定量的に算定することになっています。

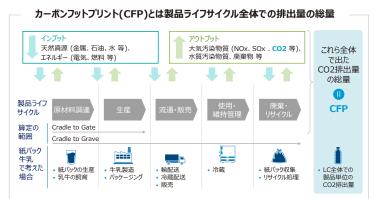
この活動に着手した背景としては、2023年3月に経済産業省よりCFPの内容をまとめた取組指針としてCFPレポート、CFPガイドラインが提言されました。その中で製品別算定ルールは、業界団体、企業コンソーシアム等、競合企業、利害関係者等が集う集団により作成することができ、製品別算定

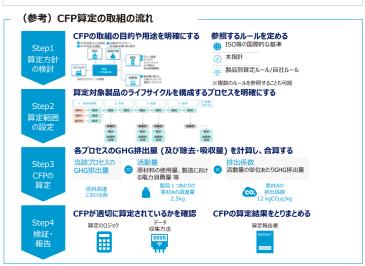
浴室技術専門委員会 CFP策定準備WGリーダー 野村 泰之

ルールを作成する際には、可能な限り幅広い同業他社に協議 を呼び掛け、製品別算定ルール策定作業を行う、という実施 方法案が示されました。

また、建設会社では、建築業界で建物のCO2排出量算定の ルール作りを検討されており、既に一部では納入する水まわ り商品のCO2排出量数値の開示要求が挙がっています。

このような政府の動きと、一部の先導的な建設会社の動きを踏まえ、キッチン・バス工業会としてCFP(LCA)製品別算定ルールの統一化をすることで、数値の受け手の混乱防止や各社負担の軽減など、キッチン・バス業界のメリットに繋げていくため、まずは浴室商品を先行して取り組み、キッチンや洗面化粧台にも展開をし、2025年までに製品別算定ルールを策定していく予定です。





出典:経済産業省 カーボンフットプリント レポート及びカーボンフットプリント ガイドラインの概要より https://www.meti.go.jp/shingikai/energy_environment/carbon_footprint/pdf/20230331_1.pdf



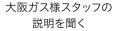
大阪ガス実験集合住宅NEXT21視察

広報専門委員会 宮坂 浩(ノーリツ)



NEXT21 外観







大阪ガス様スタッフと 参加した委員

10月13日(金)に、大阪ガス実験集合住宅NEXT21の視察 を行いました。

過去に、浴室技術専門委員会、調査統計委員会、総務委員会が視察し、広報専門委員会で4回目となります。我々住宅設備機器メーカーには、非常に関心の高い実験住宅です。10月が竣工30年の区切りの月とのことでプロジェクトの歴史を感じながら視察しました。

「未来を試せる集合住宅」が一貫したコンセプトであり、社員が実際に居住しながら様々な検証を続けています。5年毎の期間で実験が進められており、2020年からは"快適な住空間、万一に備えた住まい"の実験・検証が各方面と連携しながら進められています。

今回は新たな居住実験として3つの家の検証が進んでいます。"つながる家"は多彩な単身世帯のライフスタイル(アクティブ派、家での趣味派、一人の時間大切派)への対応を、土間やバルコニーとのつながり方にて実現させていく住宅です。親との同居を考慮した将来へのつながりも想定しています。"自在の家"は、5つの空間が自在に統合・独立することで、ある時は1つの家、ある時は5つのスペースからなるシェアハ

ウスに変幻する住宅です。家を貫く土間とウチマドを活用して多様な生活を実現し、この住居で15年後、30年後、45年後の生活スタイルへの対応をテーマとしています。この他に"風香る舎"として究極の省エネと太陽光及びエネファームによるウェルネスZEHを実現する住宅がありました。

集合住宅全体として、"万一に備えた住まい"の実験も行われており、既に夏冬計2回、金曜日から日曜日の48時間[※]、災害を想定し、停電、断水でのレジリエンス性の評価を行っています。ガスコジェネとエネファームを利用して条件付きでの水・電気の供給と備蓄食料だけで3日間にわたる本格的な実証実験であり、NEXT21ならではの実験と思いました。

この視察には個人的に感慨深いものがありました。30年前、この実験住宅の2部屋へコンセプト浴室の納品に携わりました。その中の一つの、いわゆるお掃除浴槽の原型となった浴槽洗浄システムを当時、設計・施工まで担当いたしました。ここでのフィールド実証を得て、その後商品企画をし、正式に商品発売に至ることができたのです。世に無いものにチャンレジするNEXT21の精神は、今後も重要な役目を担い続けていくと信じています。

今回の視察にあたり、熱心なご説明をしていただいた大阪ガス実験集合住宅NEXT21の皆様に、心よりお礼申し上げます。

※金曜日の昼12時~日曜日の昼12時までの48時間実験

【大阪くらしの今昔館視察】

翌日は、大阪市が運営する"大阪くらしの今昔館"を視察しました。地下鉄天神橋筋六丁目駅を出てすぐの町中にあるジオラマワールドです。9階が実物大の江戸



大阪くらしの今昔館の展示物

時代を再現、8階がモダン大阪のジオラマが楽しめるミュージアムです。特に9階は1830年代の大坂の町並みを再現しており、海外からの観光客を差し置いて、かまど、炊事場、風呂などに食い入るように観察する委員の姿が印象的でした。8階では明治・大正・昭和の町並みのジオラマや家具等が展示されており、ここでも我々の注目はコンロなどキッチン関連に集中したことは言うに及びません。

材工課題専門委員会と消費者関連委員会合同の 大和ハウス工業株式会社様 総合技術研究所 D'ミュージアム 見学について

材工課題専門委員会 城川 雅晶(クリナップ)

11月10日(金)~11日(土)の2日間、2委員会合同の移動 委員会を実施しました。

■ 大和ハウス工業

総合技術研究所 D'ミュージアムコースを見学

初日は、奈良県奈良市内にある「大和ハウス工業 総合技術研究所」にお伺いしました。

世界の環境共生住宅の展示をはじめ、創業商品「パイプハウス」から研究所で開発された最新の技術まで、貴重な実物史料をご紹介されている「D'ミュージアム」と、社会課題の解決に向けて開発した「世の中のためになる」技術の成果や未来の技術についてご紹介されている「テクノギャラリー」を見学しました。

◇D'ミュージアム

「D'ミュージアム」では、最初に世界の様々な環境共生住宅を比較できるブースを見学しました。展示物の中にはモンゴルの「パオ」や日本家屋などの実物もあり、その土地の気候・風土に合わせた構造や素材の違いを肌で感じることができました。

続いて創業から今日までの歴史を展示しているブースを見 学し、創業時のご苦労や創業者 石橋信夫氏の「世の中を良 くしたい」という思いの熱量を感じることができました。

倉庫の販売 (パイプハウス) からスタートし、住宅や商業店舗へと様々な建築物に事業を拡大されてきた歴史が分かりやすく解説されており、展示物の中には原点ともいえる「パイプハウス」とプレハブ住宅の出発点である「ミゼットハウス」の実物も展示されていました。我々も「パイプハウス」や「ミゼットハウス」の中に入り、その当時を実体験させていただきました。



D'ミュージアム前にて

◇テクノギャラリー

「テクノギャラリー」では、同社が誇る最新テクノロジーを「ハウジングゾーン」「ビジネスゾーン」「メッセージゾーン」という3つのエリアで実体験することができました。Σの形に代表される耐震研究や、生活の質を上げることに着目した「音の自由区」や「明るくすウインドウS」などを実際に体験し、技術力の高さに感服いたしました。最後に大和ハウス工業様の考える未来の建築現場のイメージ動画を視聴し、将来ビジョンを明確にすることの重要性を学ぶことができました。

■ 興福寺、東大寺訪問

翌日11日(土)は、奈良駅の近隣にある興福寺と東大寺を見学しました。

興福寺の国宝、五重塔は室町時代に再建された現在の塔の傷みが激しくなっているため、およそ120年ぶりに大規模な修理が行われています。また、2018年に再建された中金堂はステンレス製耐力壁やカメルーン産ケヤキ、カナダ産ヒノキを使用するなど、古の良さを残しつつも現在の技術を活用して強度と耐久性にも配慮されたとお聞きしました。材工課題専門委員会としては、この大変難しい工事の状況を実際の現場で確認することができ、大変有意義な機会となりました。

今回の見学によって得た知識を今後の委員会活動に生かしていきたいと思います。



大規模修理中の 興福寺五重塔



大震災への備えと安藤忠雄氏の建築を学ぶ移動委員会を実施

キッチン・洗面規格基準検討専門委員会 委員長 谷口 芳人(TOTO)

キッチン・洗面技術専門委員会は、11月17日(金)~18日 (土)にかけて、淡路方面で移動委員会を開催しました。

■関東大震災から100年、大地震への備えを再確認

関東大震災から100年が経った今、改めて大地震による災害への備えについて考え直すため、野島断層保存記念館を訪れました。ここには、阪神淡路大震災時に発生した断層が保存されています。これを見ると震災のエネルギーの大きさに改めて恐ろしさを感じました。

また、その断層のそばに建っている戸建住宅もそのままの 状態で保存されています。耐震性能が高かった住宅が倒壊を 免れたことから、住宅の耐震性を確保することの重要性も再 確認できました。

■安藤忠雄氏が設計した建築を見学

野島断層保存記念館の視察に加え、淡路島にある安藤忠 雄氏の建築も併せて見学しました。

一つ目は、宿泊先にしたTOTOシーウィンド淡路です。ここ

は、大阪湾に面した急斜面に建設された保養所で、エントランスが最上階にあるという変わった設計になっています。

二つ目は、本福寺 水御堂。ハスの池の下に本堂があるという、ここも変わった設計のお寺です。お寺の雰囲気ではない、 打ちっぱなしのコンクリート造りの建築物になっています。

大震災への備えの再確認ができ、また日本を代表する建築 家の作品にも触れることができ、有意義な移動委員会になり ました。



貴重な体験をした委員の皆さん

2023年室内環境学会学術大会に参加

室内空気環境専門委員会は、11月30日(木)~12月1日(金)の2日間、沖縄県那覇市で開催された室内環境学会学術大会に参加しました。室内環境学会学術大会には隔年で、室内の環境問題に関する最新技術動向の情報を得るため、参加しています。

講演の1日目は、住環境に潜む微生物の多様性やその変遷、そして人々の健康や暮らしに及ぼす影響について、微生物の有害性、それらが持つ様々な機能や活用法に関するシンポジウム「環境微生物の温故知新」と、近年の自動運転などの技術発展からリビングのような移動する快適な空間をテーマにした車室内環境分科会セミナー「公共交通の快適・利便性」が開かれ、各委員それぞれ分かれて聴講しました。

2日目は、微生物、化学物質、感染の実態や解析、環境や 快適性の解析や評価、健康影響やシックハウス、粒子汚染を 室内空気環境専門委員会 岩松 喜広(タカラスタンダード)

テーマとした発表があり、各委員それぞれ関心の高い講演を 聴講しました。

これまでの委員会で発表・報告があった化学物質の基準見 直し、化学物質過敏症や、室内環境に関する情報について、最 新技術動向に触れることができ、有意義な移動委員会でした。



室内の環境問題に関する 最新技術動向の情報を収集した委員の皆さん



福岡市和白水処理センター様訪問

12月8日(金)、晴天に恵まれこの時期にしては珍しく気温が20℃近い過ごしやすい気候の中、浴室技術専門委員会は、福岡市の和白水処理センター様を訪問しました。福岡市には計7カ所の水処理センターがあり、その中の一つがこの和白水処理センターです。センターの汚水処理方式は嫌気好気法で、特徴的な技術として海水を淡水化した後の濃縮海水と処理水を混ぜて海水に近い形で海へ放流しています。これにより、節水と海洋環境への影響を最小限に抑えつつ、効率的な水処理が可能となっていました。

また、福岡市では浸水対策として、公園地下などの調整池 設置や、下水と雨水を分流するシステムを推進しています。これにより、大雨時でも安定した水処理が可能となり、市民の 生活を守っていることがよく分かりました。



施設説明風景

浴室技術専門委員会委員長池口誠(LIXIL)

さらに、渇水対策として節水をはじめ、雨水管整備を推進 し、下水管のリニューアルは、内側から改築する方法を採用 し、効率的に老朽化対策を進めていました。

最後に、下水汚泥の有効利用についても見学しました。下水汚泥は肥料の原料へと処理され、また下水バイオガスを利用した発電、処理水を再生水としてトイレに利用することなども行っていました。これらの取り組みにより、資源の有効活用と環境負荷の軽減を両立していることが分かりました。

和白水処理センター様の訪問を通じて、水処理技術の進歩とその可能性を改めて感じるとともに、これらの知見を我々の業界にも活かしていきたいと思います。

和白水処理センターの皆様、貴重な機会を提供いただき、誠にありがとうございました。



和白水処理センター様との集合写真



第19回「台所・お風呂の川柳」事業報告

―― 役割は果たせたのだろうか ――

川柳事業専門委員会 委員長 中山 世一

今年も川柳の選考会や表彰式を無事に済ませることができました。最終選考会は9月27日(水)、予選を通過しかつ盗作や類句のチェックを経た271句を対象に、リモート参加を交えて白熱した選考会が行われました。

また、表彰式は11月2日(木)に東京の日本工業倶楽部にて 多数の入賞者やお客様をお迎えして盛大に行われました。

川柳事業はキッチン・バス工業会を世間の人々に知っていただこうという目的で、11月2日のキッチン・バスの日の行事として始まりました。川柳事業専門委員会ではこれらのことを念頭に置きながら議論を重ね川柳事業を続けてきましたが、目的を果たせているのかということがよく話題に上りました。大まかにいえばガス、電気、下水道、住宅機器などといった関連の事業関係者には相当に浸透し、効果があったのではないかという評価です。一方世間一般の方々に対してはどうかということですが、まだまだ十分ではないのではないかというのが大方の委員の意見です。

さて、川柳にはその時代が反映されます。今年はワールドベースボールクラシック、サッカーワールドカップ、値上げ、AI、チャットGPT等々の話題の作品が多くありましたが、阪神タイガースの優勝やラグビーワールドカップは締め切り後の出来

事であったため残念ながら作品には反映されていません。

今回は、約49,000を越える応募作品の中から1次選考、2次選考を潜り抜け最終選考会を経て見事キッチン・バス大賞を得たのは次の作品でした。

「冷めぬうち そっと追い焚く 夫婦仲」(やまびと)

時流を反映しているというよりも、ごく当たり前な生活の話 題で、普遍性のある作品だと思います。

表彰式は西尾会長の挨拶から始まり、経過報告・総評、表彰とにぎにぎしく行われました。

そのあと三遊亭圓馬師匠の落語の一席があり、懇親会に移りました。3年ぶりに立食パーティで行いましたが、受賞者とも親しく話ができて良い懇親会でした。乾杯のご発声は、日本ガス体エネルギー普及促進協議会 小川会長 (東京ガス(株)代表執行役副社長)、中締めは協賛団体を代表して、(一社)日本建材・住宅設備産業協会 寺家専務理事にお願いし、式典は終わりました。

最後に今年の委員会で、AIの利用が拡大してゆく中で川柳や俳句はどうなってゆくのだろうかということが話題となったことをお伝えしておきます。来年は20回目の節目です。これまで以上の皆様方の応援をお願い申し上げます。



第19回「台所・お風呂の川柳」出席者様との記念撮影



最終選考会風景



中山委員長





経済産業省製造産業局生活製品課住宅産業室長

潮崎 雄治 様

ご来賓の皆様から、ご挨拶をいただきました



第19回「台所・お風呂の川柳」に入賞された皆様方、本当におめでとうございます。

本日、皆様の句を一つひとつお伺いして、台所やお風呂での温かい家族の交わりや絆を 感じることができました。そして、優しい気持ちで家族と一緒に過ごしていくところとしての 台所やお風呂であることを改めて感じました。

キッチン・バス工業会の皆様におかれましては、日頃から安全安心な、そして効率の良い、高品質なキッチン・バスを開発・製造していただいておりますことをあらためて感謝申

し上げます。

業界を取り巻く環境は少し厳しいものがございますが、経済産業省としましては、業界が健全に発展し、また、本日の川柳のように世の中の人々の心に響くような、素晴らしいキッチン・バス製品を供給されるように、環境整備や取り巻く課題に取り組んでまいります。

受賞された皆様方のご健勝を祈念いたしますとともに、キッチン・バス工業会のますますのご発展を祈念いたします。

国土交通省 住宅局 住宅生産課長 山下 英和 様



第19回「台所・お風呂の川柳」に入賞された皆様方、本当におめでとうございます。また本日11月2日キッチン・バスの日にこのように盛大に表彰式が開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

キッチン・バス工業会におかれましては、この川柳の取り組み並びに住生活の向上や住宅産業の発展に大きくご貢献いただいていますことを深く敬意を表します。

本日受賞された皆様の句を伺っておりますと、お風呂や台所を使われるなかで、お気づきになられたこと、考えられたことを本当にうまく表現されておりまして、心の温まるものばかりでございました。住宅において台所やお風呂は欠かせないものですが、本日の川柳をお聞きして、ますますその思いを強くしたところです。

われわれは、人口減や空き家が増える中で、リフォームを適切に行っていただくことを進めています。本日もリフォームに関する句もいくつかございました。リフォームとなると、やはり台所やお風呂といった水回りからではないかと考えます。長く快適に暮らすためには、足元の段差を無くしたり、浴室内の温度差を無くして健康に快適に過ごしていただくということが大切ですし、また光熱費を節約させるものや、家事の負担なども軽減させるもの、そういったリフォームも大切かなと思っております。私どもも引き続き、関係業界と力を合わせまして住生活の向上、安全で快適なくらしの実現に向けて取り組んでまいりたいと思います。

また本日の「台所・お風呂の川柳」のような取り組みを通じて、多くの皆様方が住生活の向上について考える きっかけにしていただければと思います。

お集りの皆様方のますますのご健勝とキッチン・バス工業会のご発展を祈念いたします。

16





「キッチン・バス大賞」受賞者コメントをご紹介します

(敬称略)

キッチン・バス大賞

「さめぬうち そっと追い焚き 夫婦仲 | (やまびと)

皆さん、こんにちは。私は新潟県糸魚川市から参りました、渡辺茂と申します。本日は第19回「台所・お風呂の川柳」キッチン・バス大賞の名誉を賜りまして誠にありがとうございます。また、このように盛大な表彰式を開催していただきました主催の皆様に、改めましてお礼を申し上げます。



せっかくの機会ですので、作品について話をさせていただきたいと思います。私は2人子どもがおりまして、この春に2人とも県外に巣立って、今は妻と2人で生活を

しております。子どもがいた時と比べますと、家庭内、だいぶ会話が少なくなってきました。これから 2 人で支えあいながら生活をしていかなくてはいけませんので、私が先にお風呂に入りますが、お風呂から上がるときに、次に入る寒がりな妻のため、ぬるくならないように追い炊きをしておくような心遣いも持ちたいなという意味を込めて作った句でございます。といいますのも、私自身、手足の筋力低下と感覚障害が生じる難病を発症して、今年の 3 月から 3 カ月間の入院生活を強いられました。闘病中、一時は自分で歩けなくなり、家に帰れるのかなとか、家族の生活を支えていけるのかなとか、非常に不安でいっぱいになり、精神的にかなり落ち込んだ時期もありました。そんなときに、妻や子どもの励ましが心の支えになり、これからも家族や健康を大事にしていきたいなと改めて感じているところです。

キッチン・バス工業会様におかれましては、物価高や人口減少に伴う消費者の減少など、業界を取り 巻く環境は決して明るいものではないのかもしれませんが、私たち国民の日々の暮らしに潤いを与えていただくように、これからもますますのご活躍とご発展を期待申し上げて、受賞者を代表して挨拶をさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。



統計情報

2023年度上期 自主出荷統計

出荷動向の先行指標となる新設住宅着工戸数は、23年度 上期は前年比93.8%と前年を下回りました。

システムキッチンの上期は、前年比96.1%と前年割れ、セク ショナルキッチンも93.9%と前年を下回りました。

洗面化粧台も前年比95.2%と前年を下回って推移しています。

調査統計委員会委員長 垣田 賢(LIXIL)

システムバスは、上期計で98.0%とわずかに前年割れとな り、単体浴槽は90.0%と引き続き減少傾向となっています。

各商品とも、ほぼ新設着工の動きに連動して弱含みで推移 していますが、今後も出荷動向の変化を情報共有してまいり ます。

	主宅着工	戸数													(単位:戸)
年度月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期計	年度計
2020年度	69,568	63,839	71,101	70,244	69,101	70,186	414,039	70,685	70,798	65,643	58,448	60,764	71,787	398,125	812,164
2021年度	74,521	70,178	76,312	77,182	74,303	73,178	445,674	78,004	73,414	68,393	59,690	64,614	76,120	420,235	865,909
2022年度	76,295	67,223	74,617	73,024	77,731	74,004	442,894	76,590	72,372	67,249	63,604	64,426	73,693	417,934	860,828
2023年度	67,250	69,561	71,015	68,151	70,389	68,941	415,307	71,769							
前年比	88.1%	103.5%	95.2%	93.3%	90.6%	93.2%	93.8%	93.7%							93.8%
■ システ	ニムキッチ	ン(完成	記品+トッ	プ)									4-	10月累計、	以下同様 (単位:台)
年度月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期計	年度計
2020年度	89,077	80,757	101,055	101,255	85,570	100,584	558,298	104,946	104,748	108,278	90,503	106,918	109,997	625,390	1,183,688
2021年度	93,728	85,201	100,592	101,036	89,917	103,730	574,204	103,760	113,358	111,611	88,982	103,160	112,868	633,739	1,207,943
2022年度	95,883	91,623	103,336	101,923	95,505	106,164	594,434	104,176	113,119	111,932	89,247	108,456	112,166	639,096	1,233,530
2023年度	90,721	91,398	102,598	97,627	90,526	98,391	571,261	102,553							
前年比	94.6%	99.8%	99.3%	95.8%	94.8%	92.7%	96.1%	98.4%							96.5%
■ ヤクミ	ーーー ノヨナルキ	ニッチン(完成品-	-トップ)										'	(単位:台)
镀月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期計	年度計
2020年度	32,048	27,316	31,482	35,081	29,816	31,895	187,638	36,536	33,663	32,380	29,359	34,794	37,557	204,289	391,927
2021年度	32,624	27,264	33,094	32,016	29,004	32,184	186,186	33,139	32,002	30,371	28,770	32,281	35,548	192,111	378,297
2022年度	30,923	28,655	28,929	28,098	25,701	28,585	170,891	27,403	30,474	27,593	25,417	29,437	34,495	174,819	345,710
2023年度	28,156	26,131	27,770	27,647	24,574	26,115	160,393	28,797	30,171	27,575	23,117	27,137	31,173	17 1,017	3 13,7 10
前年比	91.1%	91.2%	96.0%	98.4%	95.6%	91.4%	93.9%	105.1%							95.4%
	レッナム														())(() - (,)
	比粧台	FB	6 8	78	он	08	L₩≡⊥	108	118	128	18	2⊟	28		(単位:台)
毎度月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期計	年度計
年度 月 2020年度	4月 127,662	110,208	138,831	146,324	122,409	140,262	785,696	151,322	149,841	155,274	135,290	150,867	159,960	下期計 902,554	年度計 1,688,250
年度 2020年度 2021年度	4月 127,662 141,923	110,208 124,061	138,831 144,694	146,324 143,328	122,409 128,289	140,262 149,353	785,696 831,648	151,322 149,370	149,841 160,073	155,274 158,044	135,290 136,502	150,867 147,930	159,960 158,627	下期計 902,554 910,546	年度計 1,688,250 1,742,194
年度 2020年度 2021年度 2022年度	4月 127,662 141,923 137,889	110,208 124,061 127,236	138,831 144,694 142,801	146,324 143,328 136,836	122,409 128,289 131,293	140,262 149,353 147,509	785,696 831,648 823,564	151,322 149,370 146,996	149,841	155,274	135,290	150,867	159,960	下期計 902,554 910,546	年度計 1,688,250
月 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度	4月 127,662 141,923 137,889 129,627	110,208 124,061 127,236 126,151	138,831 144,694 142,801 139,120	146,324 143,328 136,836 132,157	122,409 128,289 131,293 126,605	140,262 149,353 147,509 130,045	785,696 831,648 823,564 783,705	151,322 149,370 146,996 138,391	149,841 160,073	155,274 158,044	135,290 136,502	150,867 147,930	159,960 158,627	下期計 902,554 910,546	年度計 1,688,250 1,742,194 1,704,851
月 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 前年比	4月 127,662 141,923 137,889 129,627 94.0%	110,208 124,061 127,236	138,831 144,694 142,801	146,324 143,328 136,836	122,409 128,289 131,293	140,262 149,353 147,509	785,696 831,648 823,564	151,322 149,370 146,996	149,841 160,073	155,274 158,044	135,290 136,502	150,867 147,930	159,960 158,627	下期計 902,554 910,546	年度計 1,688,250 1,742,194
年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 前年比	4月 127,662 141,923 137,889 129,627 94.0%	110,208 124,061 127,236 126,151 99.1%	138,831 144,694 142,801 139,120 97.4%	146,324 143,328 136,836 132,157 96.6%	122,409 128,289 131,293 126,605 96.4%	140,262 149,353 147,509 130,045 88.2%	785,696 831,648 823,564 783,705 95.2%	151,322 149,370 146,996 138,391 94.1%	149,841 160,073 155,142	155,274 158,044 149,917	135,290 136,502 127,357	150,867 147,930 146,092	159,960 158,627 155,783	下期計 902,554 910,546 881,287	年度計 1,688,250 1,742,194 1,704,851 95.0%
年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 前年比	4月 127,662 141,923 137,889 129,627 94.0%	110,208 124,061 127,236 126,151 99.1%	138,831 144,694 142,801 139,120 97.4%	146,324 143,328 136,836 132,157 96.6%	122,409 128,289 131,293 126,605 96.4%	140,262 149,353 147,509 130,045 88.2%	785,696 831,648 823,564 783,705 95.2%	151,322 149,370 146,996 138,391 94.1%	149,841 160,073 155,142	155,274 158,044 149,917	135,290 136,502 127,357	150,867 147,930 146,092	159,960 158,627 155,783	下期計 902,554 910,546 881,287 下期計	年度計 1,688,250 1,742,194 1,704,851 95.0% (単位:台) 年度計
年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 前年比 シスプ 年度 2020年度	4月 127,662 141,923 137,889 129,627 94.0% ニムバス 4月 102,425	110,208 124,061 127,236 126,151 99.1% 5月 90,184	138,831 144,694 142,801 139,120 97.4% 6月 108,463	146,324 143,328 136,836 132,157 96.6% 7月 109,515	122,409 128,289 131,293 126,605 96.4%	140,262 149,353 147,509 130,045 88.2% 9月 109,651	785,696 831,648 823,564 783,705 95.2% 上期計 616,892	151,322 149,370 146,996 138,391 94.1%	149,841 160,073 155,142 11月 118,585	155,274 158,044 149,917 12月 118,861	135,290 136,502 127,357 1月 101,056	150,867 147,930 146,092 2月 104,949	159,960 158,627 155,783 3月 113,618	下期計 902,554 910,546 881,287 下期計 681,130	年度計 1,688,250 1,742,194 1,704,851 95.0% (単位:台) 年度計 1,298,022
年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 前年比 システ 年度 2020年度 2021年度	4月 127,662 141,923 137,889 129,627 94.0% ニムバス 4月 102,425 109,146	110,208 124,061 127,236 126,151 99.1% 5月 90,184 101,586	138,831 144,694 142,801 139,120 97.4% 6月 108,463 114,520	146,324 143,328 136,836 132,157 96.6% 7月 109,515 114,414	122,409 128,289 131,293 126,605 96.4% 8月 96,654 99,207	140,262 149,353 147,509 130,045 88.2% 9月 109,651 112,598	785,696 831,648 823,564 783,705 95.2% 上期計 616,892 651,471	151,322 149,370 146,996 138,391 94.1% 10月 124,061 122,892	149,841 160,073 155,142 11月 118,585 122,699	155,274 158,044 149,917 12月 118,861 119,301	135,290 136,502 127,357 1月 101,056 101,242	150,867 147,930 146,092 2月 104,949 105,905	159,960 158,627 155,783 3月 113,618 112,130	下期計 902,554 910,546 881,287 下期計 681,130 684,169	年度計 1,688,250 1,742,194 1,704,851 95.0% (単位:台) 年度計 1,298,022 1,335,640
年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 前年比 システ 年度 2020年度 2021年度 2022年度	4月 127,662 141,923 137,889 129,627 94.0% -ムバス 4月 102,425 109,146 110,649	110,208 124,061 127,236 126,151 99.1% 5月 90,184 101,586 99,061	138,831 144,694 142,801 139,120 97.4% 6月 108,463 114,520 116,000	146,324 143,328 136,836 132,157 96.6% 7月 109,515 114,414 118,829	122,409 128,289 131,293 126,605 96.4% 8月 96,654 99,207 105,114	140,262 149,353 147,509 130,045 88.2% 9月 109,651 112,598 114,451	785,696 831,648 823,564 783,705 95.2% 上期計 616,892 651,471 664,104	151,322 149,370 146,996 138,391 94.1% 10月 124,061 122,892 122,963	149,841 160,073 155,142 11月 118,585	155,274 158,044 149,917 12月 118,861	135,290 136,502 127,357 1月 101,056	150,867 147,930 146,092 2月 104,949	159,960 158,627 155,783 3月 113,618	下期計 902,554 910,546 881,287 下期計 681,130 684,169	年度計 1,688,250 1,742,194 1,704,851 95.0% (単位:台) 年度計 1,298,022
年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 前年比 シスプ 年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度	4月 127,662 141,923 137,889 129,627 94.0% -ムバス 4月 102,425 109,146 110,649 105,166	110,208 124,061 127,236 126,151 99.1% 5月 90,184 101,586 99,061 104,592	138,831 144,694 142,801 139,120 97.4% 6月 108,463 114,520 116,000	146,324 143,328 136,836 132,157 96.6% 7月 109,515 114,414 118,829 113,542	122,409 128,289 131,293 126,605 96.4% 8月 96,654 99,207 105,114 99,751	140,262 149,353 147,509 130,045 88.2% 9月 109,651 112,598 114,451 111,789	785,696 831,648 823,564 783,705 95.2% 上期計 616,892 651,471 664,104 650,929	151,322 149,370 146,996 138,391 94.1% 10月 124,061 122,892 122,963 117,648	149,841 160,073 155,142 11月 118,585 122,699	155,274 158,044 149,917 12月 118,861 119,301	135,290 136,502 127,357 1月 101,056 101,242	150,867 147,930 146,092 2月 104,949 105,905	159,960 158,627 155,783 3月 113,618 112,130	下期計 902,554 910,546 881,287 下期計 681,130 684,169	年度計 1,688,250 1,742,194 1,704,851 95.0% (単位:台) 年度計 1,298,022 1,335,640 1,353,369
年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 前年比 システ 年度 2020年度 2021年度 2022年度	4月 127,662 141,923 137,889 129,627 94.0% -ムバス 4月 102,425 109,146 110,649	110,208 124,061 127,236 126,151 99.1% 5月 90,184 101,586 99,061	138,831 144,694 142,801 139,120 97.4% 6月 108,463 114,520 116,000	146,324 143,328 136,836 132,157 96.6% 7月 109,515 114,414 118,829	122,409 128,289 131,293 126,605 96.4% 8月 96,654 99,207 105,114	140,262 149,353 147,509 130,045 88.2% 9月 109,651 112,598 114,451	785,696 831,648 823,564 783,705 95.2% 上期計 616,892 651,471 664,104	151,322 149,370 146,996 138,391 94.1% 10月 124,061 122,892 122,963	149,841 160,073 155,142 11月 118,585 122,699	155,274 158,044 149,917 12月 118,861 119,301	135,290 136,502 127,357 1月 101,056 101,242	150,867 147,930 146,092 2月 104,949 105,905	159,960 158,627 155,783 3月 113,618 112,130	下期計 902,554 910,546 881,287 下期計 681,130 684,169	年度計 1,688,250 1,742,194 1,704,851 95.0% (単位:台) 年度計 1,298,022 1,335,640
年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 前年比 シスプ 年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度	4月 127,662 141,923 137,889 129,627 94.0% 二ムバス 4月 102,425 109,146 110,649 105,166 95.0%	110,208 124,061 127,236 126,151 99.1% 5月 90,184 101,586 99,061 104,592	138,831 144,694 142,801 139,120 97.4% 6月 108,463 114,520 116,000	146,324 143,328 136,836 132,157 96.6% 7月 109,515 114,414 118,829 113,542	122,409 128,289 131,293 126,605 96.4% 8月 96,654 99,207 105,114 99,751	140,262 149,353 147,509 130,045 88.2% 9月 109,651 112,598 114,451 111,789	785,696 831,648 823,564 783,705 95.2% 上期計 616,892 651,471 664,104 650,929	151,322 149,370 146,996 138,391 94.1% 10月 124,061 122,892 122,963 117,648	149,841 160,073 155,142 11月 118,585 122,699	155,274 158,044 149,917 12月 118,861 119,301	135,290 136,502 127,357 1月 101,056 101,242	150,867 147,930 146,092 2月 104,949 105,905	159,960 158,627 155,783 3月 113,618 112,130	下期計 902,554 910,546 881,287 下期計 681,130 684,169 689,265	年度計 1,688,250 1,742,194 1,704,851 95.0% (単位:台) 年度計 1,298,022 1,335,640 1,353,369
月 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 前年比 シスプ 年度 2020年度 2021年度 2021年度 2023年度 前年比	4月 127,662 141,923 137,889 129,627 94.0% -ムバス 4月 102,425 109,146 110,649 105,166 95.0%	110,208 124,061 127,236 126,151 99.1% 5月 90,184 101,586 99,061 104,592	138,831 144,694 142,801 139,120 97.4% 6月 108,463 114,520 116,000	146,324 143,328 136,836 132,157 96.6% 7月 109,515 114,414 118,829 113,542	122,409 128,289 131,293 126,605 96.4% 8月 96,654 99,207 105,114 99,751	140,262 149,353 147,509 130,045 88.2% 9月 109,651 112,598 114,451 111,789	785,696 831,648 823,564 783,705 95.2% 上期計 616,892 651,471 664,104 650,929	151,322 149,370 146,996 138,391 94.1% 10月 124,061 122,892 122,963 117,648	149,841 160,073 155,142 11月 118,585 122,699	155,274 158,044 149,917 12月 118,861 119,301	135,290 136,502 127,357 1月 101,056 101,242	150,867 147,930 146,092 2月 104,949 105,905	159,960 158,627 155,783 3月 113,618 112,130	下期計 902,554 910,546 881,287 下期計 681,130 684,169 689,265	年度計 1,688,250 1,742,194 1,704,851 95.0% (単位:台) 年度計 1,298,022 1,335,640 1,353,369
年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 前年比 シスラ 年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 前年比	4月 127,662 141,923 137,889 129,627 94.0% -ムバス 4月 102,425 109,146 110,649 105,166 95.0%	110,208 124,061 127,236 126,151 99.1% 5月 90,184 101,586 99,061 104,592 105.6%	138,831 144,694 142,801 139,120 97.4% 6月 108,463 114,520 116,000 116,089 100.1%	146,324 143,328 136,836 132,157 96.6% 7月 109,515 114,414 118,829 113,542 95.6%	122,409 128,289 131,293 126,605 96.4% 8月 96,654 99,207 105,114 99,751 94.9%	140,262 149,353 147,509 130,045 88.2% 9月 109,651 112,598 114,451 111,789 97.7%	785,696 831,648 823,564 783,705 95.2% 上期計 616,892 651,471 664,104 650,929 98.0%	151,322 149,370 146,996 138,391 94.1% 10月 124,061 122,892 122,963 117,648 95.7%	149,841 160,073 155,142 11月 118,585 122,699 126,204	155,274 158,044 149,917 12月 118,861 119,301 120,025	135,290 136,502 127,357 1月 101,056 101,242 100,595	150,867 147,930 146,092 2月 104,949 105,905 107,401	159,960 158,627 155,783 3月 113,618 112,130 112,077	下期計 902,554 910,546 881,287 下期計 681,130 684,169 689,265	年度計 1,688,250 1,742,194 1,704,851 95.0% (単位:台) 年度計 1,298,022 1,335,640 1,353,369 97.7%
年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 前年比 システ 年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 前年比 単体済 年度	4月 127,662 141,923 137,889 129,627 94.0% 二ムバス 4月 102,425 109,146 110,649 105,166 95.0%	110,208 124,061 127,236 126,151 99.1% 5月 90,184 101,586 99,061 104,592 105.6%	138,831 144,694 142,801 139,120 97.4% 6月 108,463 114,520 116,000 116,089 100.1%	146,324 143,328 136,836 132,157 96.6% 7月 109,515 114,414 118,829 113,542 95.6%	122,409 128,289 131,293 126,605 96.4% 8月 96,654 99,207 105,114 99,751 94.9%	140,262 149,353 147,509 130,045 88.2% 9月 109,651 112,598 114,451 111,789 97.7%	785,696 831,648 823,564 783,705 95.2% 上期計 616,892 651,471 664,104 650,929 98.0%	151,322 149,370 146,996 138,391 94.1% 10月 124,061 122,892 122,963 117,648 95.7%	149,841 160,073 155,142 11月 118,585 122,699 126,204	155,274 158,044 149,917 12月 118,861 119,301 120,025	135,290 136,502 127,357 1月 101,056 101,242 100,595	150,867 147,930 146,092 2月 104,949 105,905 107,401	159,960 158,627 155,783 3月 113,618 112,130 112,077	下期計 902,554 910,546 881,287 下期計 681,130 684,169 689,265	年度計 1,688,250 1,742,194 1,704,851 95.0% (単位:台) 年度計 1,298,022 1,335,640 1,353,369 97.7% (単位:台) 年度計
年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 前年比 シスプ 年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 前年比 単体 年度 月 2020年度	4月 127,662 141,923 137,889 129,627 94.0% =ムバス 4月 102,425 109,146 110,649 105,166 95.0% 谷槽 4月 9,425	110,208 124,061 127,236 126,151 99.1% 5月 90,184 101,586 99,061 104,592 105.6%	138,831 144,694 142,801 139,120 97.4% 6月 108,463 114,520 116,000 116,089 100.1%	146,324 143,328 136,836 132,157 96.6% 7月 109,515 114,414 118,829 113,542 95.6%	122,409 128,289 131,293 126,605 96.4% 8月 96,654 99,207 105,114 99,751 94.9%	140,262 149,353 147,509 130,045 88.2% 9月 109,651 112,598 114,451 111,789 97.7%	785,696 831,648 823,564 783,705 95.2% 上期計 616,892 651,471 664,104 650,929 98.0%	151,322 149,370 146,996 138,391 94.1% 10月 124,061 122,892 122,963 117,648 95.7%	11月 118,585 122,699 126,204	155,274 158,044 149,917 12月 118,861 119,301 120,025	135,290 136,502 127,357 1月 101,056 101,242 100,595	150,867 147,930 146,092 2月 104,949 105,905 107,401 2月 10,352	159,960 158,627 155,783 3月 113,618 112,130 112,077	下期計 902,554 910,546 881,287 下期計 681,130 684,169 689,265 下期計 61,839	年度計 1,688,250 1,742,194 1,704,851 95.0% (単位:台) 年度計 1,298,022 1,335,640 1,353,369 97.7% (単位:台) 年度計 116,972
月 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 前年比 シスプ 年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 前年比 単体》 年度 2020年度 2021年度 2020年度 2021年度 2020年度	4月 127,662 141,923 137,889 129,627 94.0% 二ムバス 4月 102,425 109,146 110,649 105,166 95.0% 谷槽 4月 9,425 9,789	110,208 124,061 127,236 126,151 99.1% 5月 90,184 101,586 99,061 104,592 105.6% 5月 8,377 8,848	138,831 144,694 142,801 139,120 97.4% 6月 108,463 114,520 116,000 116,089 100.1% 6月 9,707 9,876	146,324 143,328 136,836 132,157 96.6% 7月 109,515 114,414 118,829 113,542 95.6% 7月 9,795 9,586	122,409 128,289 131,293 126,605 96.4% 8月 96,654 99,207 105,114 99,751 94.9% 8月 8,198 8,683	140,262 149,353 147,509 130,045 88.2% 9月 109,651 112,598 114,451 111,789 97.7% 9月 9,631 9,377	785,696 831,648 823,564 783,705 95.2% 上期計 616,892 651,471 664,104 650,929 98.0% 上期計 55,133 56,159	151,322 149,370 146,996 138,391 94.1% 10月 124,061 122,892 122,963 117,648 95.7%	11月 11月 118,585 122,699 126,204 11月 10,216 10,146	155,274 158,044 149,917 12月 118,861 119,301 120,025 12月 9,593 9,095	135,290 136,502 127,357 1月 101,056 101,242 100,595 1月 9,407 8,028	150,867 147,930 146,092 2月 104,949 105,905 107,401 2月 10,352 8,902	159,960 158,627 155,783 3月 113,618 112,130 112,077 3月 10,581 9,437	下期計 902,554 910,546 881,287 下期計 681,130 684,169 689,265 下期計 61,839 55,743	年度計 1,688,250 1,742,194 1,704,851 95.0% (単位:台) 年度計 1,298,022 1,335,640 1,353,369 97.7% (単位:台) 年度計 116,972 111,902



会員情報

大阪ガス株式会社様 硬式野球部 優勝

第48回社会人野球日本選手権大会が、11月3日(金)から 19日(日)まで開催され東京ガス様、大阪ガス様、西部ガス 様が出場いたしました。

残念ながら、東京ガス様、西部ガス様は、第二回戦で敗

退となりましたが、大阪ガス様がHonda熊本様に9対7で勝利し、2年ぶり3回目の優勝を果たしました。

また、今大会から創設された応援団コンクールの最優秀 賞も受賞されました。

団体会員情報

「暮らしの未来シンポジウム2023 | 開催 -般社団法人 日本ガス協会 椙江 邦弘

ウィズガスCLUBは、10月25日(水)に「暮らしの未来シンポジウム2023」を開催いたしました。今年度は「ガスで叶えるサステナブル×ウェルネスな暮らし」をテーマに実施いたしました。

今回は"子育て支援" "住環境" "暮らし方" "エネルギー"が 専門の4名の有識者にご登壇いただき、豊かな暮らしの実現 に資する方策についてご講演いただきました。住環境分野で は慶應義塾大学教授の伊香賀俊治氏より「子供から高齢者ま での健康と活躍を支える住まいの条件」と題してご講演いた だき、主に住環境と健康に関する医学的エビデンスについて 解説していただきました。 また、休憩時間にはコーヒーブレイクによる交流の場を設け、来場者同士ならびに登壇者との懇親を深めました。当日は来場、オンライン合わせて約350名の方にご参加いただき、盛況のうちに終了いたしました。





伊香賀俊治氏による講演

コーヒーブレイクの様子

第12回「住宅部品点検の日」シンポジウム開催

リビングアメニティ協会(以下「ALIA」)は、第12回となる「住宅部品点検の日」シンポジウムを10月4日(水)にオンライン配信で開催しました。今回は、「居住者による住宅部品の点検を通じた、アフター関係性強化」をテーマとし、実施しました。

ALIA 呉参与の開会挨拶、国土交通省住宅生産課 山下英和課長のご来賓挨拶の後、㈱リフォーム産業新聞社 福田善紀氏よりセミナー「大競争時代でもリフォームビジネスを確実に成功させる3つのポイント」、そしてALIA点検普及ビルダー対応委員会松本大司委員長より調査報告「居住者による住宅建材・設備の点検に関する実態調査」を行いました。

パネルディスカッションは明治大学名誉教授 向殿政男氏をコーディネーターに迎え、福田氏、松本氏に加え、㈱参創ハウテック取締役営業部長 尾崎誠一氏の計3名で「消費者に自分で点検を勧めることのビルダーのメリット・デメリット」「点検を消費者に広めるためのアイディア」「ALIA調査

一般社団法人 リビングアメニティ協会 事務局長 山田 聡報告に対しての意見」「正しい情報を消費者に届けるために

必要なこと」などの論点で活発な意見交換が行われました。

最後に向殿氏が「消費者は『安心』を求めており、『安全×信頼=安心』という方程式がある。まずメーカーは『安全』な製品をつくることが前提だが、それだけでは消費者には伝わらない。安全を安心に繋げるために必要な『信頼』を築くためには、例えばビルダーのOB対応のように、定期的にコミュニケーションをとり、正しい情報を提示することに尽きる」とまとめていただきました。



パネルディスカッションの様子



きました。

行政イベント

「住生活月間中央イベント/住まいフェスin岐阜」参加

広報専門委員会副委員長 大崎 和美(東京ガス)

高円宮妃殿下は開催セレモニー終了後、各ブースをま

わられ、家やまちの絵本コンクール表彰の受賞者と談笑さ

れ、子どもたちも照れながらも嬉しそうな顔をしていました。ブース内では、(一社)日本ガス協会様のご厚意で第19回

「台所・お風呂の川柳」入賞作品のパネルを展示していただ

3会場でいろいろなイベントが開催され、ラジオの公開生放

送、家族で楽しめる体験コーナーなど、各々で盛り上がってい

ました。その後、今年1月4日に開庁した地上21階建ての新岐

阜県庁に場所を移して、合同記念式典が行われ、こちらも高

円宮妃殿下ご臨席のもと、各賞の表彰が行われました。

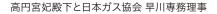
10月7日(土)、当工業会も協賛している、岐阜県岐阜市で執り行われました第35回「住生活月間中央イベント/住まいフェスin岐阜」(後援:国土交通省ほか)に参加してまいりました。

「子育ても暮らしも毎日快適な住まい〜地震に強く、夏涼しく冬暖かなZEH水準の健康省エネ住宅〜」をテーマに展示も3会場で行われました。

晴天の中、JR岐阜駅では黄金の織田信長像に迎えられ、メイン会場であるOKBぎふ清流アリーナのオープニングセレモニーでは高円宮妃殿下のテープカットも滞りなく行われイベントが始まりました。

第35回住生活月間 第35回住生活月間中央イベント 住まいフェス in 岐阜 テープカットセレモニー

高円宮妃殿下によるテープカット





地上21階建ての新岐阜県庁



黄金の織田信長像



日本ガス協会と事務局



行政情報

各種行政情報については、これまでも会員の皆様には総括 責任者様を通じて、都度情報発信させていただいており、特 に重要な内容に関しては、各委員会での活動内容とともに、 K・B通信でもご紹介しております。K・B通信では、過去半年の 行政関連情報について、ご紹介しきれていない内容も含め、 皆様に改めて整理してお知らせします。

Press Release 国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

令和5年11月14日 住宅局住宅生産課

新たな住宅の省エネ化への支援 「子育てエコホーム支援事業」の事業の内容を公開します!

11月10日に閣議決定された、新たな住宅の省エネ化支援「子育てエコホーム支援事業」について、その事業の補助対象の要件や補助額等を公表します。

※国会での補正予算の成立が前提となります。

1. 支援事業の名称

11 月 10 日に閣議決定された令和5年度補正予算案に住宅の省エネ化への支援を強化するための補助制度である「質の高い住宅ストック形成に関する省エネ住宅への支援(仮称)」が盛り込まれました。この支援事業の名称が「子育てエコホーム支援事業」に決定しましたのでお知らせします。

2. 事業の内容

「子育てエコホーム支援事業」の補助対象、補助額、申請方法、今後の予定等について記載した「子育てエコホーム支援事業の内容について」を国土交通省のホームページに公表しましたので、以下よりご確認ください。

※国会での補正予算の成立が前提となります。

◆子育てエコホーム支援事業について

https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku_house_tk4_000243.html

(問い合わせ先)

子育てエコホーム支援事業お問い合わせ窓口

電話番号 03-6632-9955 (通話料がかかります) 受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日を含む)

国土交通省住宅局住宅生産課

電話:03-5253-8111(内線 39471)

子育てエコホーム支援事業について

https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku house tk4 000243.html



年月日	関係省庁など	内容関連リンク先 掲載対象期間:2023年6月1日~2023年11月30E
2023年11月22日	国土交通省	子育てエコホーム支援事業について 〇子育てエコホーム支援事業の説明資料はこちら(令和5年11月22日公開) https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku_house_tk4_000243.html
2023年11月17日	経済産業省	住宅省エネ2024キャンペーンにおいて対象となる給湯器の基本要件を公表します https://www.meti.go.jp/press/2023/11/20231117004/20231117004.html
2023年11月14日	国土交通省	新たな住宅の省エネ化への支援「子育てエコホーム支援事業」の事業の内容を公開します! https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001203.html
2023年11月10日	環境省	住宅の省エネ化の支援強化に関する予算案を閣議決定 〜環境省・経済産業省・国土交通省が連携して取り組みます〜 https://www.env.go.jp/press/press_02387.html
2023年11月10日	経済産業省	住宅の省エネ化の支援強化に関する予算案が閣議決定されました https://www.meti.go.jp/press/2023/11/20231110004/20231110004.html
2023年11月10日	国土交通省	住宅の省エネ化への支援強化に関する予算案を閣議決定! 〜国交省・経産省・環境省が連携して取り組みます!〜 https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001202.html
2023年10月16日	国土交通省	住宅・建築物の設計・施工等に携わる皆さまに向けて講習会等を開催します! 〜改正建築基準法・改正建築物省エネ法の円滑な施行に向けて〜 https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001200.html 2023年度グッドデザイン賞 https://www.g-mark.org/learn/past-awards/gda-2023/results
2023年10月 5日	経済産業省	10月は「木材利用促進月間」ですウッド・チェンジ ~木づかいが 森をよくする 暮らしを変える~ https://www.meti.go.jp/press/2023/10/20231005005/20231005005.html
2023年 9月29日	国土交通省	こどもエコすまい支援事業の申請受付を終了しました https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001191.html
2023年 9月29日	国土交通省	建設リサイクル法に係る全国一斉パトロールの実施 〜現場における適切な分別解体、再資源化の徹底に向けて〜 https://www.mlit.go.jp/report/press/tochi_fudousan_kensetsugyo13_ hh_000001_00196.html
2023年 9月22日	環境省	デコ活(脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動)の進展状況について https://www.env.go.jp/press/press_02178.html
2023年 9月19日	国土交通省	10月は「木材利用促進月間」です~ウッド・チェンジ 木づかいが 森をよくする 暮らしを変える~ https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001192.html
2023年 9月 8日	国土交通省	10月は「住生活月間」です〜安心できるおうちがいいね〜 https://www.mlit.go.jp/report/press/house02_hh_000186.html
2023年 6月16日	内閣官房	新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2023改訂版・成長戦略等のフォローアップを閣議決定しました。 https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/atarashii_sihonsyugi/index.html
2023年 6月13日	国土交通省	戸建住宅における太陽光発電システムの設置についての疑問にお答えします! https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001614229.pdf
2023年 6月 9日	国土交通省	令和6年以降に住宅ローン減税を受けるには省エネ性能が必須となります 〜住宅ローン減税における省エネ性能の必須要件化について説明会を開催〜 https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001614022.pdf



VOICE

不確実性を前提とした住宅業界の中長期戦略は、 SDGsを中核に置き戦略を立てたい



弁護士 秋野 卓生 (弁護士法人匠総合法律事務所)

1子育てエコホーム支援事業

エネルギー価格などの物価高騰の影響を受けやすい子育 て世帯・若者夫婦世帯による高い省エネ性能を有する新築住 宅の取得や、住宅の省エネ改修等に対して支援することによ り、子育て世帯・若者夫婦世帯等による省エネ投資の下支え を行い、2050年カーボンニュートラルの実現を図ることを目 的に、子育てエコホーム支援事業がスタートします。

2025年4月の建築物省エネ法改正も睨むと、新築住宅において省エネ基準への適合率は非常に高くなることが予測され、新築住宅の住まい手は、快適で健康的な住宅に住まうことができる環境が整うことになります。

2 中古住宅の住まい手は省エネ住宅には住めないのか

SDGsの趣旨に鑑みれば、誰一人取り残すことのない社会を実現することが重要であり、中古住宅の住まい手も快適で健康的な住宅に住んでもらうような政策も考えていきたいところです。

子育てエコホーム支援事業では、住宅のリフォーム向けの補助もあります。しかし、恩恵を受けることができるのは、リフォーム費用を支出できる「ゆとりのある施主」が対象となります。

財布のひもが緩まない貧困、高齢世帯の方々が省エネ住宅に住む道はないのか?という観点から、私は、住宅を社会保障として明確に位置づけ、新築住宅を取得する層だけでなく、社会的弱者、賃貸住宅に住む人々全てに①レジリエンス②社会的公平性③健康④ゼロカーボンの4つのテーマ全てを満たす住宅に住まう権利を人権(住まいと人権)として明確に位置づけ、そのために補助金政策を連動させる制度構築が社会公平性に適う住宅政策ではないか、と考えています。

そうすることにより、既存住宅の基本性能(耐震、断熱など) を改修する工事に補助金が交付されることにより、需要が促進 され、内需拡大につながる動きとなり、住宅業界が日本経済を 牽引する力となることも可能ではないか、と考えているのです。

3 司法と福祉の連携「住宅は生きていくため必ず必要なもの」

ここ近年で、弁護士としての力不足に悩み、将来、もっと弁

護士としての力をつけて社会貢献しなければならないと痛感したケースが、新型コロナウイルス感染拡大の初期、派遣労働者が雇い止めになり、住んでいた寮を退去させられ、職もないので、アパートにも入居できない、という事態が発生したことへの対応でした。生活保護受給者になると、今度はアパートオーナーが、生活保護受給者の入居を渋るという事態に直面し、この社会的弱者をどうにかして救済できないか?と悩み、結局、何もできずに自らの力不足を痛感しました。

「住宅は生きていくため必ず必要なもの」であり、SDGsの 観点からは困った人を「誰一人取り残すことなく救済しなければならない」のであるから、多くの空き家を活用して社会保 障としての住宅を作り出していくことの重要性を痛感しています。

4 正しいことを追求する姿勢が

不確実性を前提とした未来を見つめる上で重要

法学とは、正しいことは何かを追求する学問であり、その神髄を究めるべく日夜、法律と向き合っている立場から申し上げると、過去の歴史は失敗を繰り返し、その失敗を二度としないために法律を作り、その時々において「正しいこと」を追求しようと繰り返しています。

そして、その法律に魂(ハート)がこもっていないと、また、過ちを繰り返す。また、法律を取り扱うにあたり、魂(ハート)を込めないと、過ちを犯すことになります。

正しいことを実践しようという視点からは、社会的弱者の住宅をどのように整備していこうか、と考え、魂(ハート)を込めて中古住宅リノベーションを行い、行政と連携してサブスクであったり賃貸であったり公営住宅であったり、活用のバリエーションを広げて社会貢献していこうという視点こそ、不確実性の時代における指標として捉えるべきであり、住宅会社の中長期戦略には、中古住宅リノベーションを中心に置くことを推奨したいと思います。

このように、不確実性の時代といわれる現状において、 SDGsを念頭に置きながら、正しいことを実践しようと考えて いけば中長期戦略にて失敗することはないと考えます。



事務局

ありがとうございました!!

私がこのコラムに執筆させていただくのも本第 26 号が最後となりました。

2020年7月の第19号からの掲載ですので、計8回の 寄稿となるわけですが、その内容としては、世界で猛威を振るったコロナ関連にフォーカスすることも多く、事務所が位 置する浜松町界隈の変わりゆく様子や事務所改装の内容な 前常務理事 越道 昭徳

ど、皆様に興味のある内容であったかどうかは、今となって は私が知る由もありません。

兎にも角にも、最後を締めくくる寄稿として、「変わりゆく街、浜松町 ─最終回─」と、長い間親しんだ事務所の 一角に神棚を設置したことをお伝えして、筆を擱きたいと思います。

変わりゆく街、浜松町 ―最終回

■コロナ感染症 5 類以降の変貌!!

今年5月にコロナ感染症が2類から5類に移行され、日本ではコロナ禍で規制されていた飲食や移動(旅行)がほぼ自由になり、特に旅行者の増加には目を見張るものがあります。これは世界も共通で、ひと頃は全くといってよいほど、見なくなった外国人の旅行者が急増し、出張でのホテル予約など一苦労の状況かと思います。この浜松町界隈でも、朝の通勤時、増上寺方面からJR浜松町駅に向かって多くの外国人がスーツケースを片手に歩いてくる光景が日常的に見られるようになりました。

また、コロナ禍では列をなして賑わっていた PCR 検査場も、現在では空きビルとなり、何もなかったか のようにひっそりと佇んでいます。

なお、数回に渡ってお伝えした世界貿易センタービルの解体も完了し、新ビル建築に着手しています。 ※解体の模様はNHK(5月放送)の「解体キングダム」でも放送されました。

この後、浜松町界隈がどのように発展していくかは、 工業会事務所にお立ち寄りの際、皆様ご自身の目で 確認していただければ幸いです。



スーツケース片手の旅行者



2類時のPCR検査場⇒ 5類後の空きビル



解体後の貿易センター跡地

会議室の神棚

■工業会会議室に神棚を設置!!

昨年、移動委員会で『伊勢神宮』に参拝した折、 工業会会員の皆様の健康と飛躍を祈念し、神楽祈祷 を受けました。その際に授かった神宮大麻(お札)

(神棚の位置) 会議室入口の左側壁上部



を会議室に設置した神棚に祀りました。伊勢神宮の分社であり、当工業会の守護神でもある『芝大神宮』のお神札と並べて祀っております。皆様にご利益があらんことを願いつつ…。



伊勢神宮 神宮大麻(お札)



工業会業務日誌

常務理事 清水 洋一

10月2日(月)

初出勤なので早めに到着。入り口で3F事務所のオートロック解錠!とカードキーをかざしてみたが「ピッ」と言わず、いきなり戸惑う。管理会社に電話してみよう、と思ったところで、ビルを掃除していた人が「3F開いてるよ」。エレベータで登ってみたら田中部長がすでに勤務中。初日の私を気遣って早めに出勤していただいてありがとうございます。

午後、会員企業の O さんと M さんが陣中見舞い (と、私の狼狽ぶりを観察?) に。お気持ちとてもう れしかったです。

10月3日(火)

業界新聞による西尾会長の取材に同席。会長の取材が終わって雑談中「おお、新任の常務理事ですか、それでは」と、「ついでに」取材を受ける。「趣味は?」「いやぁ特に趣味というものは…」みたいなやり取りでも、後日掲載された記事を読んで記者さんの文章力に驚き。

10月10日(火)

前常務理事の越道さんから「1週間に1回くらい水 をあげてね」と引き継ぎを受けた会議室の観葉植物 (名称不明) に差し水。枯れ枝と枯れ葉が目立ったの

でハサミで剪定したが「ありゃ。切りすぎた」。 事務所の棚にあった 栄養剤を土に突っ込ん だものの、回復力に期 待するしかない。小学 校の朝顔だけが植物 栽培歴のド素人がやる と口クなことにならず。



新緑の季節を待つ(11月24日撮影)

10月12日(木)

コンビニで昼ごはんを買う。数十年間の社食生活で、自分で選択せず食べられる気楽さに慣れた身にとっては、食べたいモノ・値段・カロリーの組み合わせの最適解を求めるのはけっこうたいへん。

10月19日(木)

先月まで同僚だった I さんと W さん来訪。事務所 が近くなったので、と。改めまして旧知の間の名刺 交換。これからも各委員会でよろしくお願いします。

10月27日(金)

総武快速線と山の手線を乗り継いで浜松町に通っているが、今日は新橋から徒歩で事務所に向かう。 新橋駅改札を出て、ガード下の朝8時営業開始の居 酒屋で旨そうにビールを飲んでいる人々を横目で見ながら事務所まで1,500歩、メタボ対策の一助となるか。第一京浜の一つ裏の通りを初めて歩く。街並みが新鮮。

11月18日(土)

昨日からキッチン・洗面技術委員会の移動委員会で淡路へ。今日、神戸三ノ宮で解散。委員 A さんお勧めの元町・老祥紀の豚まん、お土産用と新幹線車内一人で食べる用を各 6 個買う。新橋から1,500歩を歩くくらいのカロリー消費じゃ追いつかず。でもすごくおいしかったです。

ということで、まだまだ不慣れなことばかりですが、何とかやっております。この拙文に、広報専門委員会から次のお呼びがかかるかどうか分かりませんが、もしかしたら、また次号にて。



No.26 編集委員 —

発行責任者:野村泰之(LIXIL)

編集長:柴崎和彦(クリナップ)

編集委員:石井博之(渡辺製作所)

井上 知春 (ナスラック)

大崎 和美(東京ガス)

佐藤 哲(トクラス)

潮田 栄二(パナソニックハウジングソリューションズ)

高橋 絵里 (三菱ケミカル・クリンスイ)

中島 宏文(タカラスタンダード)

藤野 豪洋(積水ホームテクノ)

松本 賢治 (TOTO)

宮坂 浩 (ノーリツ)

清水 洋一(事務局)

田中 朋子(事務局)

ポインセチア 大聖堂の 祈りかな

朋子

編集後記

5月に新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類となり、少しずつコロナ禍前の日常を取り戻しつつあるように感じています。11月2日に行われた、第19回「台所・お風呂の川柳」の表彰式では、受賞者の皆さまの嬉しそうな笑顔や思いに直接触れることができ、私も幸せな気持ちになったのを思い出します。やはり人と人との繋がりは大切ですね。

さて、今年もあとわずかで終わろうとしています。私は10年ほど前から年末に【今年の10大ニュース】というと大げさですが、今年あった出来事や感じたことなどを手帳に書き留めています。日記はなかなか続かないので、せめて1年の締めくくりぐらいは…と思ったのがきっかけです。1年に1回ですが、こ

の振り返る時間、自分を見つめ直す時間がとても大切だと感じています。

ここ数年は、コロナ禍ということもあり暗いニュースが多かったように思います。今年は明るい、楽しいニュースで埋まるといいな…と思いつつ、年末ゆっくり振り返ってみたいと思います。

でも私にとって今年一番のニュースは2年ぶりに広報専門 委員会へ復帰できたことです! 来年も皆さまとの繋がりを大 切に、活動していきたいと思います。

よろしくお願いいたします。

広報専門委員会 編集委員 井上 知春(ナスラック)

JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH

キッチン・バス工業会

工業会のホームページは情報の宝庫です!

キッチン・バス



https://www.kitchen-bath.jp/

発 行 日:2023年12月25日

発行責任者: 広報専門委員会 委員長 野村 泰之

『K・B通信』に関するお問い合わせは下記Eメールへお願いします。

Eメール: kitchen.bath@nifty.com